

清福

S E I F U K U



平成30年5月
第83号

題字 総本山金剛峯寺座主中西啓寶大僧正猊下

高野町議会だより



高野山小学校 14名



花坂小学校 1名



高野山中学校 8名

平成30年度管内小・中学校入学式

平成30年3月定例会

おもな内容

- ◇ 3月定例会の議案審議とその結果……………2頁
- ◇ おもな審議内容……………3頁
- ◇ 一般質問……………6頁
- ◇ 議会日誌、編集後記……………14頁

発行 高野町議会
編集 広報特別委員会

〒648-0281

和歌山県伊都郡高野町大字高野山636

TEL : 0736-56-2935

FAX : 0736-56-5300

e-mail:gikai-jimu@town.koya.wakayama.jp

平成30年3月定例会の概要

3月2日に招集された3月定例会には、条例の制定及び改正8件、一般会計・特別会計の補正予算7件、新年度当初予算12件、同意1件等、全30議案が審議され、3月23日に閉会しました。
一般質問については、8名の議員が後述の内容で質問を行いました。

議案審議とその結果

■ 3月定例会

議 題 名	付託委員会	審議結果
高野山観光情報センター設置条例の制定について		原案否決
高野町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について		原案可決
高野町個人情報保護条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町介護保険条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町消防本部手数料条例の一部を改正する条例について		原案可決
平成29年度高野町一般会計補正予算(第6号)について		原案可決
平成29年度高野町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について		原案可決
平成29年度高野町国民健康保険富貴診療所特別会計補正予算(第2号)について		原案可決
平成29年度高野町簡易水道特別会計補正予算(第3号)について		原案可決
平成29年度高野町下水道特別会計補正予算(第3号)について		原案可決
平成29年度高野町介護保険特別会計補正予算(第3号)について		原案可決
平成29年度高野町立高野山総合診療所特別会計補正予算(第3号)について		原案可決
平成30年度高野町一般会計予算について		原案可決
平成30年度高野町国民健康保険特別会計予算について		原案可決
平成30年度高野町国民健康保険富貴診療所特別会計予算について		原案可決
平成30年度高野町簡易水道特別会計予算について		原案可決
平成30年度高野町富貴財産区特別会計予算について		原案可決
平成30年度高野町下水道特別会計予算について		原案可決
平成30年度高野町農業集落排水事業特別会計予算について		原案可決
平成30年度高野町介護保険特別会計予算について		原案可決
平成30年度高野町生活排水処理事業特別会計予算について		原案可決
平成30年度高野町立高野山総合診療所特別会計予算について		原案可決
平成30年度高野町後期高齢者医療特別会計予算について		原案可決
平成30年度高野町水道事業会計予算について		原案可決
高野町富貴財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて		原案同意
下垣内議員に対する処分要求の件について	懲罰特別委員会	懲罰を科すべきでない
上野議員に対する処分要求の件について	懲罰特別委員会	懲罰を科すべきでない

議案審議の主な内容

条例の制定・改正

高野山観光情報センター設置条例の制定について

内容 高野山観光情報センターを設置するための条例を制定するものです。

質問 使用料金について、事務所のスペースは1日にすれば非常に安い金額になっていますが、休憩・交流スペースは、終日使用は1万800円と非常に高いのではないですか。

答弁 使用料金の設定については、行政財産の使用条例の金額を準用しており、休憩スペースは、高野山会館を例にして場所等を考えて上乗せしています。なお、条例には使用料の減免という条文があり、町民や小・中学校等の教育団体が使う際には、減免等の取り扱いができるように規則を今作っています。

質問 いろいろな考えの諸団体が入って運用していくときに、最終的には町長の判断になると思いますが、どういうところで決定されていくのですか。

答弁 運用の話し合いについては、金剛峯寺、宿坊協会、観光協会と町の4者で今定例会の会議を持っており、その中でいろいろ検討を進めています。ただ、最終的には町の中の決定にはなると思いますが、町独断というよりも、その中で話し合いながら決めていく形で進めたいと考えています。

観光情報センター設置条例に対する討論

反対討論 ○条文の変更も出てくると思うので、竣工を見届けて6月の定例会に制定されれば正確なものが出てくるのではないかと思います。また、大きな工事の変更があったので、原状変更の許可手続をするのが建前ではないかと思うので反対します。

○各諸団体と話をしていることですが、そこに議会が置き去りにされていると思います。また、各機関と協議をしたのであれば、そういう書面も提出していただかなければ、納得できませんし、屋根の材質が変わるのであれば当然図面の変更が必要であり、屋根の値段が下がった分、何に使ったのか、それを出して、議会に対して説明するべきだと思います。

採決 採決の結果、賛成少数により否決されました。

補正予算

平成29年度高野町一般会計補正予算(第6号)について

内容 歳入歳出それぞれ1250万円の増額補正で、予算総額は42億1390万円となりました。

質問 地籍調査費の委託料が2223万9千円減額となっています。当初、3班で調査をするとのことでしたが、班を減らしたのですか。また、以前、言われていたように、30年で終われるような見込みがあるのですか。特に班を減らしてというわけではなく、3班体制で進めており、1000年かかる

答弁 地籍調査費の委託料が2223万9千円減額となっています。当初、3班で調査をするとのことでしたが、班を減らしたのですか。また、以前、言われていたように、30年で終われるような見込みがあるのですか。特に班を減らしてというわけではなく、3班体制で進めており、1000年かかる

のを30年ということ、あと約26年ほどで終わると思っただけであればありがたいです。

平成29年度高野町立高野山総合診療所特別会計補正予算(第3号)について

内容 歳入歳出それぞれ86万6千円の増額補正で、予算総額は3億2329万4千円となりました。

質問 一般寄附金が100万円計上されていますが、御寄附された方は、一人ですか。また、何かに使っていたらいいというように御意思があるのでしょいか。

答弁 故人の遺志で、地域医療に役立ててほしいとのことで御寄附くださいました。使いたい道につきましては、医療機器購入に充てたいとしたいということで、予算計上しています。

当初予算

平成30年度高野町一般会計予算について

内容 予算総額34億5700万円、対前年度4億7300万円の減額となっています。

質問 地籍調査費の地籍調査事業委託料3307万4千円について、今年度はどこを減らすのですか。前年度より約3600万円減額されていますが、前年度と同じくらい費用を捻出して、面積を拡大できなかったのでしょうか。

答弁 本年度は、高野山地区2箇所、東富貴1箇所を予定しています。事業費増については、国の方針で、公共事業の予定のあると

ころ、また市街地を推薦してくるように指導を受けている中で、3班で今の現状をまず維持するような形で進めています。

質問 総務費の職員住宅借上料347万4千円の内容について説明願います。

答弁 高野山の物件で、家賃月2万円、7戸分、年間168万円です。別に新しく入居があったときのために、3戸分を計上しており、この分については敷金がかかりますので、家賃と合わせて87万円になっています。それと、県へ派遣している職員の2人分で92万4千円を予算計上しています。

質問 企画費の中の地域公共交通補助金360万円はどういったものですか。また、支所費の中にも地域交通補助金1980万円があります。別のものですか。

答弁 企画費のほうは、高野山から花坂へ行く南海林間バスに対しての補助金です。支所費のほうは、下筒香集会所前から五條イオンに出している夢たまごハイランドタクシー線の分の補助金です。

質問 保健福祉センター費にトレーニングマシンの機器システムリース料として345万6千円が計上されています。今どのくらいの利用者がありますか。そして、どれくらい収入が上がっているのですか。

答弁 29年12月末で、男性109名、女性135名の244名の方の登録があります。使用料金は、1回1000円で、14万2700円の収入見込みです。そのほかに昨年度よりフィットネスの先生に来ていただいており、利用する方は1回4000円で、その利用料が

222人を予定しており8万8800円です。

質問 観光費のスポーツ大会補助金361万3千円について説明願います。

答弁 町制施行90周年の記念大会で、小学生対象の柔道大会を高野山中学校で開催する費用で、審判員、昼を敷くりース料等を計上させていただいています。

質問 観光費の高野町団体旅行誘致推進事業委託料600万円について説明願います。

答弁 高野山で合宿や研修に来ていただく団体旅行を増やそうということで、団体旅行で利用された方お一人当たり1泊目2千円、2泊目1千円を補助します。平成29年は39件、約2千名の方に御宿泊をいただいています。

質問 土木費住宅建設費の設計管理委託料300万円、公営住宅長寿命化改修工事2700万円について内容を説明願います。

答弁 凌雲団地1棟の外壁の設計及び修繕をする予定です。7棟ありますが、長寿命化計画で、5年ぐらいでできないかと進めています。

質問 道路新設改良費の町道改修工事1千万円と改修工事3500万円について内容を説明願います。

答弁 町道改修工事は、大門高野駅線のり面修繕工事分です。改修工事は、町道愛宕谷1号線改修工事が2500万円、町道紫雲団地1号線側溝改修工事1千万円です。土木費道路維持費の中の現物支給用材料費20万円について内容を説明願います。

す。また、対象は道路だけです。

答弁 法定外公共物の里道や水路等、地元で管理をしていただいているところを想定しています。材料はセメントや、コンクリートを想定しています。建設課では道ということで、田んぼのへりというのは、場所を確認させてもらってからになります。

質問 町道筒香線は、崩れたりして危険な箇所が多くありますが、30年度に予算がついていないのが心配です。丹生川ダム基金が約4100万あるとのことですが、これを使って早急に調査、工事をしていただきたい。

答弁 町道筒香線に関しては、従来から高野山地区と富貴とを結ぶ幹線ということで、何か手だてができないかとずっと考えています。改修工事となると距離も長く、残っている基金では到底間に合わないと思っっています。今、知事と今後のあり方について議論している最中で、早期に改修できるように、今後とも県、国と連携して、協議を重ねてまいりたいと思います。

質問 小学校費の義務教育無償化修学旅行費等補助金111万6千円、義務教育無償化教材費186万5千円、中学校費の義務教育無償化修学旅行費等補助金138万円、義務教育無償化教材費124万8千円について、内容を説明願います。

答弁 義務教育無償化修学旅行費等補助金は、修学旅行については1人につき中学校は6万円、小学校は3万円を上限に補助しています。校外活動費（遠足等）については、1人につき中学校は1・2年生1万円、小学校

一般会計当初予算に対する討論

は、1年生から4年生は6千円、5年生は8千円を上限に補助しています。上限額を超えた場合は、保護者負担となっております。教材費は全てを賄っているわけではなく、私物化になるようなものについては原則対象になりません。しかし、学習に必要で、公平に扱える教材であれば対象になるものもあります。

反対討論

○観光情報センターの工事に関しては、後で変更というのは談合と思われるも仕方のないようなやり方です。また、金額が出せないこと自体が不自然と思わざるを得ないと思っています。それと、指名競争の入札業者の名前をすぐ出せないのは信用しがたいし、職員住宅借上料については、給料にちゃんと住宅手当をつけて、形として残すのが当たり前だと思えますので反対します。

○観光情報センターについて、設計変更に関する400万円の精算も、余ったお金をほかに使う、そんな精算の仕方はありません。そして、電柱移設は、最初の設計のときに初めから入ってなくてはいけません。屋根材を勝手に替えたことは、精査の仕方がいいかげんであり、また、観光協会と話し合いもできてなく、条例も否決されたので、5月にオープンしても進んでいくのか懸念しています。やはり、この観光情報センター関係の1700万円については、400万円余った分の書類も出していただいていないので、反対します。

賛成討論

○観光情報センターの変更工事について、調べた結果、発注者でこういう変更

をした場合、差額で精算するという形になり、壊してやりかえるということになると町負担となるので、でき上がった状態を変更するために潰すわけにはいきません。設計どおりやっていただくのが当然でしたが、工期の問題とか理由があり、やむを得ない場合もあると思います。

○観光情報センターの外構工事、電柱移設による管路の移設、大型ディスプレイ、備品の購入費は、この建物を生かしていくのに必要な予算であると考えます。また、屋根材の変更による精算も、最終には正確に行うという答弁もあり、30年度に必要な骨格予算が提案されたと考えますので、賛成いたします。

○観光情報センターについて、指定事項を変更しようとするときには、それ相当の会議において、話し合いで変更する。これを現状変更申請といえます。申請を受ける者は、それを承知すればこれが通っていくということにつながっていくものです。そういうことについては今後十分心得ていただき、今後に生かしていただくように申し添えて、賛成討論とします。

採決

賛成多数で可決されました。

平成30年度高野町介護保険特別会計予算について

内容

予算総額5億4700万円、対前年度1900万円の減額となっております。

質問

歳入で、第1号の被保険者の保険料が出ています。平成30年度、全国の代表市町

村の介護保険料が6千円台で、6割が上昇するというようなデータが出ていました。当町はどういうことになるのですか。

答弁 30年度からの7期は大幅にアップしましたが、今まで5630円平均だったのが、6886円に上がります。伊都圏域で2番目に高い率になっています。

懲罰の審査

下垣内君に対する処分要求の件について

内容 3月定例会の一般質問中、下垣内議員より無礼な言葉を浴びせられたとして、崎山議員が処分を求めたことにより懲罰特別委員会が設置され、審査された内容について、委員長報告が行われました。

結果 委員長報告は「懲罰を科すべきでないもの」であり、採決の結果、賛成多数で委員長報告のとおり「懲罰を科すべきでないもの」と決定しました。

上野君に対する処分要求の件について

内容 3月定例会の一般質問中、上野議員より無礼な言葉を浴びせられたとして、崎山議員が処分を求めたことにより懲罰特別委員会が設置され、審査された内容について、委員長報告が行われました。

結果 委員長報告は「懲罰を科すべきでないもの」であり、採決の結果、賛成多数で委員長報告のとおり「懲罰を科すべきでないもの」と決定しました。



中前 好史 議員

完成後の高野山観光情報センターの利用について

質問 産業観光の拠点となる経済の発展に欠かせない建物になるのだと思いますが、町民も観光客の方も利用できる4月からの計画はどうなっているのか。

答弁 (産業観光課長) 高野山の主産業の振興を進めるための施設のメインスペースは、観光客に開放する1階部分の交流スペースと情報スペースになります。この二つのスペースは無料WiFi、無料パソコン、あと自販機とか、大きなモニターを使った情報発信のツールを設置します。

さらに高野山に必要な情報についても積極的に提供したいとのこと、施設に入居していただく一般社団法人高野山観光協会様ですとか、和歌山県世界遺産センターさんとともに情報を収集し、整理し、高野山のどこで何が行なわれているか、新鮮な情報を提供できるように体制づくりを進めたいと考えています。

それと、もう一つ大きな利用の方法として、細川、花坂ですとか、筒香、富貴地区において、今皆さんが取り組んでおられる地元の農作物とか加工品の製造等に取り組んでおられる方々と協働で、販売できるような仕組みを考えています。

また高野の手仕事で職人さんに技術を披露していただく場所にもしたいとも考えています。広いスペースではセミナーや小規模なイベント等、高野町の皆様にも使っていただけるよう考えています。できればゴールデンウィークにはプレオープンという形でオープンし、観光客の方にご利用いただけるようなスケジュールで進めたいと考えており、プレオープン後も関係する皆様方のご意見を聞きながら、さらに有効な活用ができるような体制づくりをしていきたいと考えておるところです。

質問 外国の方も多く利用されると思いますが対応は。

答弁 (産業観光課長) 外国語のできる新たなスタッフも採用し、インフォメーションに当たっていただくよう考えています。

現在、英語のできる職員も含めて外国語対応をおこなって行きたく考えております。

現在も外国語対応セミナーとか宿泊事業者の方におもてなしの研修をしているところもたくさんありますので参考にし、いろいろ事業を進めたく思っています。

質問 観光協会との話し合いはできているのか。

答弁 (産業観光課長) 観光協会、宿坊協会、商工会、金剛峯寺、高野町とで、定期的に会議を持って事務局で話し合いを進めています。

答弁 (町長) 観光協会にお願いして施設に入っていたら同じフロアで仕事をすること観光の拠点、情報の核となるような場所にな

ると考えています。観光客、参拝者、地元住民の方々がいろいろな形で外国の方々と交流していく場が大切とも思っていますし、小学生、中学生や多くの方を迎え入れるような生涯教育ができる場所とも考えており、今年のゴールデンウィークあけから使用して高野町発展のために、積極的に進めて行きたく思っています。

町民の健康づくり(身体の健康・心の健康づくり)の計画について

質問 町民の健康づくり(身体の健康・心の健康づくり)の計画についてですが、住民の幸せを考えたような方法で進めているのか。

答弁 (町長) 健康づくりの一つのきっかけとして高野町保健福祉センターでフィットネスを開始し、筋力低下を回避できるようにと月平均152名の利用をいただいています。

通常の集団検診及び特定健診では、実施することにより多くの方に受診していただけるようにして健康寿命を延ばしていただけるよう取り組んでいます。

答弁 (福祉保健課長) 健康相談は町内15カ所で行ない、周辺集落の方に関しては個別訪問をしています。保健師が対応し血圧測定、また希望者には尿検査を行っています。薬の飲み方、簡単な体操や栄養指導も今現在継続しています。

心の健康については、外出できない方には慎重に個別で相談を受け精神保健福祉士が対応しています。相談があればいつでも福祉保健課までと伝えていきます。

答弁 (町長) 長期総合計画の中にも住民の健康づくりの目標をしっかりと立て健康寿命の町づくりを進めていきます。



大谷 保幸 議員

砂防用堰堤・ダムのことについて

質問 質問の主旨ですが、河川の本流・支流・谷等に砂防用として築いている堰堤が土砂で埋め尽くされている状態であり、機能的に見て満杯となっている。この状態で置いておくとは異常を来すと思います。高野町内にも数多くあるのではないかと。本流・支流の堰堤と、谷にある堰堤があり、それぞれの利用目的に少し違いがあると思います。この堰堤の建設は県ですか、町ですか。それに堰堤のある場所を把握されていますか。

答弁 (建設課長) 既に建設されている古くからの堰堤を指摘されていると思いますが、何分、現状については建設課では全てについては把握しておりません。堰堤は県で管理されていると考えています。

質問 富貴・筒香地区のニヶ所について、台風・大雨時の状態を発表する。このことは町の協力なしでは改善できることではないと思います。町としての対応をお聞きします。

答弁 (建設課長) 堰堤の機能がどのように働いているかわからない状況です。まず地

元の地区の皆様で協議していただいた上で、どの、どのような構造物で、どのような状態で、どのようにお困りなのか。また、どのような要望なのかを整理する必要があると思います。現場・状況・要望を確認させていただいて、県と相談して進めたいと思っています。

答弁 (産業観光課長) 田んぼの取水用の堰堤の目的として設置した堰堤はないと聞いております。砂防とかという目的で設置された堰堤を、田んぼの取水用に利用させていたというところがあるかというところ、3者立ちで現場を確認させていただき、その結果、取つてもいいかどうかというところを含めて相談をさせていただきたいと思っております。

学校給食用として米の調達方法について

質問 地産地消として玄米を当筒香地区から3年前より町に出荷しています。昨年はグループ名で「田んぼづくりタイ」として2.5トンを出荷しています。町長が議会場で言っている4トンに達していない調達方法をお聞きします。それと購入条件も合わせて。

答弁 (教育次長) 先に試験ということで205項目の農薬検査、残留農薬検査ということをクリアしていただいで納品していた

だくこととなります。筒香産は、今高野山上の米穀店さんのほうに一括納品して、大体使うのが11月中旬ぐらいから翌年6月ぐらいになるかと思えます。6月以降になると梅雨・高温でカビ・虫が心配。特に学校給食となりますと安心・安全というのが大事になってきますので、どうしても常温保管しか現状ではできていない状態です。そうなるかと、今の受け入れが限度かなと考えています。

答弁 (町長) 地産地消の一つということで、この事業を政策的に進めました。理想としては4トン高野町で賄えればよいというふうなことで進めております。役所が先導して、政策的に耕作放棄地をなくしていく為の一つの事業としてだんだん根づいてきているものかなというふうにも思っております。

質問 夏場過ぎると品質が落ちるといふような話があったと思いますが、そういうものをクリアする保冷库で保管された条件さえ整えば調達可能かどうか。

答弁 (教育次長) 保管状況等、低温庫で保管になるかと思いますが使用も可能なかというふうには思いません。今の給食の委託料としては、地元米を使うという前提での委託料ですので、可能性としては、もう少し数量を伸ばせるかなということがあります。



松谷 順功 議員

高野山観光情報センター（ビジターセンター）について

質問 高野山観光情報センターの屋根材は銅板葺き、0.4ミリと設計図に表示されていますが、ガルバリウム鋼板に変更されているのはなぜですか。

請け負っていただいた業者の方々には、厳寒の中期もなく、休日返上で工事をしていただいていると聞き、感謝申し上げます。産業観光課・課長より3月末には完成予定とお聞きしております。

平成29年6月議会補正予算での仕様説明では、紀州材を使い、壁は漆喰、屋根は銅板葺き、この3点のみでした。補正予算を含め1億4,364万円の工事で、この仕様は金剛峯寺との協議で決まったと答弁しています。

答弁（産業観光課長）ご指摘のとおり、銅板一文字葺きで設計をしておりますが、工事段階で、設計士・落札業者との初回打ち合わせ会議を持ちました。工期等について協議した中で、冬季における短期の工事であることの見解が出て考慮した結果、工期内の竣工を目指すため、当初設計になかった積雪にも工事のできる覆い屋根を採用することになりました。

また銅板での雪止めの設計では不十分で、銅板とステンレスを使えば電蝕の心配もあるとの

意見が出て、協議の結果ステンレスパイプで二重に設置、屋根のバランスを考え鬼・箱棟を大きなサイズに変更、工費を検討の結果ガルバリウム鋼板を採用することに変更しました。また床材・天井材を紀州材にグレードアップし、内装バランスのとれた変更です。

質問 3月1日現在設計変更されていません。設計変更が先でしょう。ガルバリウム鋼板は工場にて加工されるので工期を短縮できますが、議会また金剛峯寺で銅板葺きと説明した以上、銅板を使うべきだった。銅板の欠点は高価だということですか。

答弁（産業観光課長）現場の意見を聞き、ガルバリウムの耐用年数は銅板と遜色ないとの意見もあり、景観についても落ちついた焦げ茶色を採用しています。工期が短く、時間のない中でしたので、最終の精算設計での変更という形で工事を進めているところです。

質問 ガルバリウムは今一般的に使われている材料です。アルミニウム・亜鉛・シリコンで銅板にメッキしたもので、20年から25年で塗装のメンテナンスが必要で、銅板は過去の文化財の建物で分かるようにメンテナンスフリーで耐久年数が長く、日本人の持つ美的感覚、美的感性に合う外観を作り出します。工期問題でいとも簡単に変更されたことが理解できません。

答弁（産業観光課長）銅板が長持ちすることと将来的な景観を考慮して設計をしていた訳ですが、工期内に仕上げることで、銅板と遜色な

い耐用年数があるということ、安易に変更したものではありません。

質問 ガルバリウムと銅板には単価に大きな差があります。あれこれ仕様変更して精算したら差し引きゼロ円ですとなれば差額が明確ではありません。設計図・仕様書とは何なのでしょう。

答弁（産業観光課長）設計士も入った変更です。今回、契約金額・総額・工期の変更がありませんので契約変更の手続きは取っておりません。

質問 課長・町長も了解されているのでしょうか。この場合は業者の問題ではなく、発注者の問題です。

答弁（産業観光課長）町単独で決定したものではなく、設計士・請負業者と協議し、契約者双方の合意での変更です。

質問 金剛峯寺からの要望と聞いていますが了解いただいていますか。

答弁（産業観光課長）材質の変更をすることは説明していますが、金剛峯寺全体として合意いただいているかの確認はとれておりません。

答弁（町長）今後先を見越した中で、ハード面では高野山らしい建物、立派な建物を造っていきたいとの町の思いを金剛峯寺が理解してくださったということで、材質で了承されたものではありません。工期の中で最善の方法でした。この建物、使用していただける町民の皆様、また高野山を訪れる参拝者、観光客の皆様の期待にこたえられるようにしていきたいと思っております。



崎山 文雄 議員

個人情報の漏洩事件(できごと)について

質問 返却を求めている個人情報には意外な目的のために使用されていると聞いていますがもう茶番劇はやめてはどうか。

答弁 (会計課長) 今日までの経過を報告します。下垣内議員に紛失している文書を探していただくよう本人に文書と口頭で何度もお願いしてきましたが、2月20日本人に連絡をしたとき、下垣内議員より弁護士に渡していると言う話でした。その後相手方の代理人である弁護士に返却を求めている文書を送付しています。

質問 動機がわかり使用目的が終ったこの文書を返却してもらっても意味がないのでは、他に使用される危険が無い限り手元で処分してしまうことになるだけではないのか。

答弁 (会計課長) 手元に戻るまで返却を求めていることを続けていくつもりです。

質問 漏洩した個人情報の書類は弁護士の手元にあるということが判明しました。

答弁 (会計課長) 富貴地区公共事業の調査の目的のためではなく、全く個人の目的のために使用されたこの事実をどのように考えておられますか。

答弁 (会計課長) 個人情報保護法で管理しなければならぬ文書なので返却をお願いしています。返却されるまで文書等でこれからも連絡をする予定であります。

質問 この事件(できごと)は適正に処理しておかなければ後々まで問題を残す事になりませんか。

答弁 (町長) 議員がおっしゃられる、町としてどうしていくかという内容ですが、1年・2年ばかりになります。この件が出てきた日から、庁舎内で回す決裁書、また情報管理というものについては徹底しています。

そうすることが使命であり議場でも述べさせていただいておるところでございます。

質問 持ち出されたプロセスについては、町にも責任があると、以前町長も答弁されていまして。担当課にしても責任があったと既に行政処分を下されていますが、持ち出している議員には何も問題なしとする考えは、大きな間違いだと思っております。

答弁 (町長) この件については、返却希望者の希望に沿い対応してまいりたいと思っております。

質問 担当課長は長きに渡り返却を求め議場でも一刻も早く返却をお願いしと哀願までしているにも拘わらず、ヤジ発言の中には返却すべきの一言も出てこないのが残念、返却さえすれば既刻すむことではないのか、悪質すぎる、私には考えられない言動だ。

のを言えよ」等のヤジが連発。

答弁 (町長) あつてはならないことが起きたので、その反省に立って職員一同に文書等の管理の徹底を指示しております。引き続き情報管理の徹底、文書の審査の確実性というのを増していきたいと考えております。

ふるさと納税の内容について

質問 ふるさと納税の内容について。

答弁 (企画公室長) 平成29年度決算見込みでは、寄付金額は1億9000万円、謝礼品支出額が9500万円、経費は400万円、残る額は9100万円が町の収益金額になります。

質問 収益金額は次の事業には使用できませんか。少年野球がよく使っています、ゲートボール場の南側の窓全体が開放できない状況になっています。ほっておくとますます劣化が進むこととなります。早急に修繕すべきだと考えますが、また高野山会館を使用するには大修繕が必要だと聞きますが、今後の使用目的を伺います。

答弁 (町長) 高野山会館に関しては、使用する予定はございません。今後は整理していく対象になっていくものと思います。ゲートボール場については1年半前から修理する方向で福祉課のほうで検討しているところでございます。

質問 (福祉保健課長) ゲートボール場の現状は当課で十分把握しております。土、日、水曜日は少年野球が使用されています。

いま、県と協議を進めているところでありますが、平成30年度に高齢者施設整備事業が出てくる予定ですので、この事業に計上できるように考えています。また、交付金申請の手続きを進めていきたいと思っています。補助金申請の内示等はまだ、届いていませんが、30年度の補正予算に計上し対応できるように予定しています。

いま、県と協議を進めているところでありますが、平成30年度に高齢者施設整備事業が出てくる予定ですので、この事業に計上できるように考えています。また、交付金申請の手続きを進めていきたいと思っています。補助金申請の内示等はまだ、届いていませんが、30年度の補正予算に計上し対応できるように予定しています。



中迫 義弘 議員

肺炎球菌ワクチン予防接種について

質問 肺炎球菌ワクチン予防接種の内容、通知方法等について質問をいたします。本町ではどんな方法で各該当者に通知をしておりますか。

答弁 (福祉保健課長) 福祉保健課では、年度初めに対象者の方に郵送でお送りしております。予防接種の対象者は65歳、70歳、75歳と5歳刻みの実施となり、100歳まで該当いたします。平成26年度には町単独事業として、対象者1,092人のうち314人が町単事業で接種を受けております。今現在、高野町では2584の方が対象で、29年4月～30年3月6日までに予防接種を終わられたのは616の方が接種しております。当課でもいろいろ議論し、今後、より住民にわかりやすいように説明をし、広報等でも周知していきたいと思えます。

質問 個人宛てに封書で通知をしていると聞きました。チェックはどうなっているのかをお聞きしたいと思います。

答弁 (福祉保健課長) 対象の方には3月末現在の名簿で、一覧表が出ます。住民基本台帳に基づきまして、健康システムから一覧表を出して、それを一人一人チェックし、対象になる方に郵送させていただいています。職員のほうも二重、三重にチェックしていますが、届いていないというお答えもございましたので、今後、外のラベルであるとか、通知文をよりわかりやすいように改善していきたいと思えます。

質問 周知徹底していただけないことを確約していただきましたので、今後ともよろしくお願いしたいと思います。そこで町民に周知徹底を図るため、一つの提案をしたいと思います。これは岩出市の健診申込書です。当市では自治会に入らない世帯も多く、シルバー人材センターを通じて各家のポストに投函して、大切な事項の周知徹底を図っているそうです。幸いなことに、本町の場合は町内会組織がしっかりしているので、町内会長さんを通じて各世帯に配布も可能かと考えますが、いかがなものでしょう。高野町の場合も4月当初には特定健診等の書類は一括で送付してもらっていますが、一方通行になっているため、受診率の低下につながっているのではないかと考えます。

答弁 (福祉保健課長) 他市町村の状況、ありがとうございました。シルバー人材センターを利用し、各ポストに投函するというような、私ども、今のところ発想もなかったもので、一つの参考にはさせていただきたい。町内会長さんに配布していただくとか、もろもろほかのもので配布するということでしたら、当課の方で健康づくり推進員さんや母子の関係では母子推進員さんとかございますので、その協議体と協議しながら、ポストに投函できるのかということも今後、検討していきたいと思っております。より皆さんのお手元に早く・確実に届くように検討していこうと思っております。

答弁 (福祉保健課長) 他市町村の状況、ありがとうございました。シルバー人材セン

質問 (町長) 当課のほうでもしっかりと対象者に伝わるようにというような決意もございいます。そのような中で、町内会長さんにとくと、またいろいろ回覧板等いろんな御負担もありますので、違った方法で確実に処置できるような方法を、今年の夏過ぎまでにはしっかりと検討させまして、9月あたりには議員に御報告できるようにいたします。

要望 チェックを確実にし、周知徹底を図ることが、特定健診等の受診率アップにも繋がります。総合診療所を使ってもらうことにより、診療所の活性化にも繋がるのではないかと考えますので、よろしく願います。





大西 正人 議員

施政方針について

質問 まちの人口が減少する中、町民だけではインフラを維持できない、法定外目的税を考えていると言われておりました。30年度に研究の上、練り上げていくものとは思いますが、町長の胸中を伺います。

答弁 (町長) 法定外目的税導入の具体的な内容については、いろいろ誤解もまだ生じる段階かなというふうにも思いますので、しっかり煮詰めて、関係機関、また住民の皆様、また最終的には議会の意見も賜りながら、導入すべきかどうかを議論してまいりたいと考えておるところです。わずかな人口でどうインフラを支えていくのか、まちを挙げての話になってくると思っております。

質問 施政方針の中で健康ウォークについて、毎月21日をウォーキングの日とする発言がありました。どのような内容で実施していくのですか。

答弁 (福祉保健課長) 高野山の歴史ある風景を見ながら、21日の午前中に集まっていたいで、簡単なストレッチ、保健師による血圧測定、そして1人では歩けない、でもみんながおればゆっくりでも歩けるというふうな

方針で、無理なくみんなが毎月参加できるような形で今現在進んでおります。

質問 ふるさと納税ですが、貴重な財源と考えます。町長からサイトを増やすとの発言もありました。今後も皆さんに応援してもらえ内容にしなければと思えますが。

答弁 (企画公室長) 現在、JTBと契約し、ふるさとというサイトを導入しております。寄附額上位の和歌山県内及び全国自治体を調査し、申し込みの多いサイト3事業者に決定し、順次導入していくという方向にしています。既に楽天と2月に契約し、恐らく4月20日前後には導入予定となっております。

質問 町長として、高野町の新たなまちづくりということに対しての思い、また考えを伺えればと思えます。

答弁 (町長) お大師様の御入定1200年にあわせて、いろんな形のまちづくりをしてまいりたい。ハード面、ソフト面、具体策は、長期総合計画等に反映されてくるものと思っております。やはり住む人間が、またこれから生まれてくる人間がしっかり生活していく、また健康な形で生涯を暮らしていただく、そして教育を受けていただくということが、ソフトの大切な部分と思っております。人をつくっていくかなければまちはできていきません。人づくりがしっかりできるようなまちをつくるべく、皆様町民とともにいろいろな意見を交わしながら、まちづくりを進めてまいりたいと考えております。

質問 小中一貫校について、高野町の教育行政にとって大変重要な問題と考えますので、そのことに関して進捗を伺います。

答弁 (教育長) 高野町の小中一貫を進めていく方向で、現在3年目を経過しています。一体型、あるいは連携型、分離型と多様な形態を持つ小中一貫教育の体制について、検討してきたところです。本年度、高野山の小中学校につきまして、教育委員会から研究指命を行う。学校長は校務分掌で連携主任を任命して、各部会の立ち上げを視野に入れ、地域と連携した地域の力を学校教育活動に生かすとともに、4月から学校運営協議会の立ち上げも実施するとなっております。

質問 義務教育学校も視野に入れての動きとなっていくのですか。

答弁 (教育長) 教育委員会といたしましては、義務教育学校という設置は今のところ考えておりません。といえますのは、非常に難しい過程を経ていかなければならない。先生方の教員の免許であるとか、もろもろのことが出てまいります、小中一貫の連携をまず深めていくということが大事だというふうに考えておるところです。

答弁 (町長) 小中一貫の連携を加速していただくためにも、義務教育学校という言葉を使っております。目指すはそこということではまだありませんが、この議論を教育委員会内で加速していただくために言葉として出させていただいております。町民の教育のためしっかりと教育委員会と話を進めてまいりたいと思えます。



下垣内 公弘 議員

ハイランドタクシーについて

質問 ハイランドタクシーの運行について、以前にも質問させて頂きましたが住民の方の多くがバスの台数が増えたが、以前より不便になりなるとかしてほしいとの声が私によせられています。当局としてこう言った声に真摯に耳を傾け、改善を図っていくことが行政の役割であると私は思うが答弁願います。

答弁 (富貴支所長) 補助金を1500万から1980万まで増額し、車も1台から2台体制にし現状維持に努めています。今以上に利便性を上げるとなるとさらに費用をつぎ込む必要がある。

質問 補助金も増額し、車も増えているのに以前より不便になるのは私には理解できません。住民の方に御理解頂きたいのではなく、御理解して頂けるようも

っと努力すべきではないのか。当局の一方的な判断で物事を進めていくのではなく、住民の方とともに考えていくことが大切である。また時間やバスの回数だけではなく、色々な仕組みに取り組んでいかなければならないと思うが答弁願います。

答弁 (富貴支所長) ハイランドタクシーだけの仕組みじゃなくて、ほかのことも今後考えていく必要があるのはわかるが現状ではきびしい。





所 順子 議員

ビクターセンターについて

質問 無駄な税金使用がとどまる所がないので
又再度質問します。当初ログハウス修理

1,000万円からのスタート、今や2億近くのお金を使用した建物となり、未だ完成していないビクターセンター。町は五月にオープンと云っているが、中身が決定していない今、何をしようとしている建物なのですか。又この建物について今三月議会に出された条例案は、町権限、町長権限となっておりません。この内容は新観光協会となる4つの機関と話し合っているの条列案なのですか。話し合った証明を提示して頂きたいのと、内容をお尋ねいたします。

答弁 (産業観光課長) 高野町の主産業、観光産業の振興の為核となる施設で一緒に入居して頂く法人高野町観光協会、和歌山世界遺産センターと一緒に高野町の観光の振興を進めたい。

質問 ではこの建物の主軸となる、新観光協会の方々は十分に話し合いを持たれ、内容を決定し条例を出したのですか。私の聞くところでは、中身については何も聞いていないと伺っている。話し合いも充分でないのに議会で条例を通そうとするのは議会の責任

が出て来る。議員の皆はこの条例を通すのですか。そうすれば町長の責任が全く失くなり、町長は議会がやった事と云えるし責任回避が出来る。新観光協会との話し合いも半ばであるにもかかわらず、勝手な条例など通過してはならない事である。(この条例案は5:4で三月議会で否決)

答弁 (産業観光課長) 議会に上程している条例案が承認されれば条例にそって契約を進めて行きたい。新観光協会事務局の方には条例が通過すれば手続きを進めたいと云う事は言っています。

質問 この上はどのような話し合いを新観光協会とされるのかは分かりませんが、箱物を建てる前にきちっとした計画がないのは残念であるし、税金の無駄遣いとなってしまふ。おまけにこのビクターセンターの屋根については当初、本山に提出した書類では銅板でするとなっていたが単価が安いガルバリウムに変更し400万円程を浮かしていた。このお金はどこに使ったのですか。他の議員の質問の答弁では、床材とかに使用しプラスマイナセロにしたと答弁していますが、勝手にそう云う事をしたら駄目ではないのですか。税金の使途があまりにもいいかげんすぎますよ。三月議会では追加予算として540万円外構工事代と出ていますが、何故屋根で残らせた400万を使わなかったのですか。

答弁 (産業観光課長) 工事短縮のために銅板をガルバリウムに変えた。単価は下がったがその分については契約の金額内で施工という事で最終精算設計で同額になると云う事を進めている。

質問 契約金額以上に次から次へと補正され税金投入が止まっていけないではないのか。設計費1,000万も使っておきながら三月に1,700万の予算追加となり2億近くになったのですよ。外構工事費などは最初の設計に含まれて当然のものが今頃出て来るのはおかしいし、町長は昨年6月にはこれ以上は追加金は出しませんといながら、いくらでも出して来ます。

答弁 (産業観光課長) 最初のスタートはあくまで新観光協会として予算を組み、知らない間に町の建物になり、新観光協会は家賃を払い間借りすると云う様に変わっている。議員も議員で、この事を何も云わず予算通過させて来たのはおかしいにつきる。名目以外に税金を使ってもらっては困る。いまだ完成していないビクターセンター、いつになれば完成し事業が遂行されるのであるうか。

感想 三月予算では1,700万円追加は5名の議員により通過致し2億近い金額となりました。税金はもっと明瞭に、大切に使うべし。

答弁 (町長) 金剛峯寺、観光協会の理事と共通認識のもしつかり進んでいるところ

1月

- 役場仕事始め式
- 消防出初め式(黎明館)
- 新成人式(中央公民館)
- 広報特別委員会
- 全員協議会
- 社会福祉協議会理事会(保健福祉センター)
- 高野町介護保険事業計画等策定委員会
- 和歌山県後期高齢者医療保険料率説明会(紀の川市役所)

2月

- 伊都・橋本老人福祉施設事務組合定例会に係る説明(役場3階会議室)
- 町村議会議長・副議長・事務局長研修会(紀州南部ロイヤルホテル)
- 橋本周辺広域市町村圏組合議会代表者会(橋本周辺広域ごみ処理場)
- 伊都・橋本老人福祉施設事務組合定例会(伊都消防本部)
- 伊都・橋本児童福祉施設事務組合定例会(伊都消防本部)
- 橋本周辺広域市町村圏組合議会定例会(橋本周辺広域ごみ処理場)
- 町村議長会臨時総会及び県幹部との意見交換会(分パローム紀の国)
- 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会定例会(タイワロイネットホテル和歌山)
- 議会運営委員会
- 高野町地方創生評価検証委員会
- 高野山小学校学習発表会

3月

- 3月定例会
- 全員協議会
- 高野町社会福祉協議会理事会(保健福祉センター)
- 高野山中学校卒業式
- 高野町公民館運営審議会(中央公民館)
- 懲罰特別委員会
- 花坂小学校卒業式
- 高規格救急自動車寄贈式(役場玄関前)
- 高野町介護保険事業計画等策定委員会(保健福祉センター)
- 高野山小学校卒業式

○ 高野町社会福祉協議会評議員会(保健福祉センター)
○ 総合診療所運営委員会(総合診療所)

次の方が選任されました

高野町富貴財産区管理委員 中迫 勝次

一般質問

(質問の詳細については、6～13ページに掲載)

受付順	氏名	質問事項
1	中前 好史	・ 完成後の高野山観光情報センター利用について ・ 町民の健康づくり(身体・心の健康づくり)の計画について
2	大谷 保幸	・ 砂防用堰堤・ダムのことについて ・ 学校給食用として米の調達方法について
3	松谷 順功	・ 高野山観光情報センター(ビジターセンター)について
4	崎山 文雄	・ 個人情報の漏洩事件について ・ ふるさと納税の内容について ・ 12月に一般質問された印鑑事件の内容について
5	中迫 義弘	・ 肺炎球菌ワクチン予防接種について
6	大西 正人	・ 施政方針について
7	下垣内公弘	・ 町長が公約に上げられた内容について ・ ハイランドタクシーの運行について ・ 前回副町長に質問させて頂いた件について
8	所 順子	・ ビジターセンターについて ・ 高野広報について

一般質問のしるし

『発言』および『答弁』の内容は、質問者に編集・校正をお任せし、質問者の責任のもと掲載しております。

編集後記

平成30年3月定例会は、3月2日に召集され、一般会計補正予算・特別会計補正予算7件、新年度予算12件、条例の制定・改正8件、同意1件等、全30議案を審議し、3月23日に閉会しました。

今回の新年度予算は、町長選挙を控えた骨格予算であり、6月議会には新規事業等の補正予算が提案されると思われる。

この編集後記を書いているさなか、大切な人の計報が入りました。皆さんにも大切に思っている人、思われている人がいます。その人を悲しませることのないように、定期健診・がん検診を受けてください。私も今年はずいぶん「皆さんも必ず検診にいきましょね。」とお願いし上げ、編集後記とさせていただきます。

大西 正人

審議内容および一般質問の詳細については、高野町ホームページをご覧ください。議会事務局にお問い合わせください。

高野町HP

<http://www.town.koyawakayama.jp>

議会事務局：☎0799-59-2009